

○湿地(広義)に関心をお持ちの方へ

4月末にいわゆる"Red Data Book"(絶滅に瀕する種のリスト)が日本でもようやく出版されましたが、その中で湿原(湿地、湿性地など)の植物種の占める割合は大変なものです。さらに、世界的にもWetlandの保護や研究が急務と叫ばれ、国際的な取り組みが行われています。しかし、湿原(広義)に関心を持っている人々の間での研究交流は必ずしも活発ではないように思われます。

そこでとりあえず、お互いの交流を深め、問題点を議論しあう手始めとして、ニュースレターを発行してはどうかと考えています。基礎研究、応用研究、保護など、内容は問いません。少しでも湿地に関心のある方々の参加を希望します。会費などは人数を見て決めたいと思いますが、当座は郵送費程度のものをお考えしております。水草研究会会員以外の方へも宣伝のほどをお願い致します。発起人: 植田邦彦(大阪府立大)、角野康郎(神戸大)、菊池多賀夫(東北大)、波田善夫(岡山理科大)(アイウエオ順)

連絡先: 〒591 堺市百舌鳥梅町4
大阪府立大学総合科学部 植田邦彦
Tel 0722-52-1161 ext. 2730

○「すげの会」の発足(案内よりの抜粋)

すでにご存じの方もいるかと思いますが、スゲ属植物に興味を持っている方々から『日本しだの会のような会をキャツリグサ科対象で作ったらどうか』という声がありました。そこで、ここにスゲ属に限らずキャツリグサ科に興味を持っている方々をお誘いして「すげの会」を発足させることを提案致したしだいです。

皆様もご存じのように、キャツリグサ科は、種類が非常に多く、しかも分類で取り上げられる形質が、果実や鱗片などの小さなもので、その分類が難しいとされています。特に、スゲ属は日本特産のものが多く、我々日本人が特に注意しなければならない植物と考えています。ゴルフ場造成、リゾート開発や住宅団地造成など各地で生育地が失われている今日、分布の狭い特産種の中には、絶滅の危機に瀕しているものもあります。

当面は名簿作りを行い、ごく内輪の会で発足致したいと考えております。とりあえず、お互いに身近なところから採集していただいて、標本を交換していただけたらと思います。その他具体的な活動計画につきましては皆様のご意見を参考にさせていただき提案いたしたいと思っています。将来は、一年に数回の簡単な会誌を発行し、会員の皆様のご意見や、採集および観察記録、発表等の

情報を載せたいと考えております。

連絡先 〒321 栃木県宇都宮市東宿郷6-7-10
野口達也 (TEL 0286-34-4173)

○水草研究会第11回全国集会

日時 1989年7月29日(土)~30日(日)
場所 松江温泉 ホテルなにわ別館
(島根県松江市千鳥町)

参加申込は6月10日(土)までに下記へ。
〒690 松江市西川津町1060

島根大学理学部生物学教室 国井秀伸
TEL 0852-(21)-7100(内)583

詳細については、先日お送りした案内を御覧下さい。

○投稿のお願い

水草に関するあらゆる話題を、お気軽に御寄稿下さい。なお、投稿に際しては次の点に御留意下さい。

(1) ワープロ打ちの原稿は、行間を十分にとり下さい(A4の場合、30行まで)。字数も一行25字で打ち出していただけると編集作業がはかどります。

(2) 図表は、本文とは別にして下さい(割付は当方で行ないますので、本文中に図や表を入れないこと。図表を入れるべき場所を余白に指示していただくだけで結構です)。また、図は、活字の貼り込みをのぞいてそのまま印刷所へ回せる状態にして下さい。

[原稿の送り先] 〒657 神戸市灘区鶴甲1-2-1
神戸大学教養部 角野康郎宛

○10周年記念号(No. 33・34) 正誤

66頁左、下から8行目 自転車→自動車

右、図5の説明1行目 ヤマトミク~~ル~~→ヤマトミク~~リ~~

下から5行目 砂浜がある。塩寮と→

砂浜がある、塩寮と…

下から3行目 抗日念碑→抗日記念碑

下から2行目 ノアサガオ→モミジヒルガオ

水草研究会会報 No. 35 (1989年3月)
(Bulletin of Water Plant Society, Japan)

発行 水草研究会(神戸市灘区鶴甲1-2-1
神戸大学教養部生物学教室内)

編集 角野康郎

印刷 中村印刷株式会社

(神戸市灘区友田町3-2-3)